



名古屋港ポートビル開館 40周年記念講演会

Anniversary!

日本経済における 港湾の役割

～港からみる日本経済・中部経済～



名古屋港ポートビルからの展望風景

参加無料
募集人数
100名



講師

内田 俊宏 氏
(うちだ としひろ)

日時

2024年

7月20日[土]

14:00~15:30 (受付/13:30~)

※応募者多数の場合は抽選となります。

対象

中学生以上

※小学生以下はご参加いただけません。
予めご了承ください。

会場

名古屋港ポートビル
4階講堂

(地下鉄名港線「名古屋港」駅下車
3番出口より徒歩5分)

当日ご参加の方 全員にプレゼント!



01南極観測船ふじ



02名古屋海洋博物館



03展望室

3施設共通無料招待券 (3か月有効) + 記念品

お問い合わせ ▶ TEL.052-652-1111 (名古屋港ポートビル代表)

主催/名古屋港管理組合・公益財団法人名古屋みなと振興財団

応募受付はこちらから





講演概要

名古屋港ポートビルは、今年7月20日に開館40周年を迎えます。これを記念して、中京大学経済学部客員教授 内田俊宏氏をお招きし、講演会を開催いたします。

名古屋港は、1907(明治40)年の開港以来、中部圏のものづくり産業を物流面で支え、22年連続で総取扱貨物量・日本一の港へと発展しました。また、親しまれる港づくりの拠点の一つであるガーデンふ頭においては、現在更なるにぎわいや新たな魅力の創出を目指し、再開発に取り組んでいます。

港湾が果たすべき役割を知っていただくとともに、今後の中部経済や日本経済、観光やみなとのまちづくりがどのように進んでいくのか、名古屋港の過去から現在そして未来に向けた視点により、ご講演いただきます。

講師ご紹介



内田 俊宏(うちだ としひろ)氏

中京大学経済学部 客員教授、学校法人梅村学園 常任理事、
株式会社吉番屋 社外取締役、名古屋港管理組合 港湾政策経営アドバイザー
株式会社十六総合研究所 アドバイザー、エコノミスト

<専門分野>

日本経済、地域経済、まちづくり、観光・地域戦略、インフラ整備など

<主な著書>

『東海エリアデータブック』共著 中日新聞社 2003年～2020年
『経済 金融 トレンドに強くなる』共著 きんざい 2012年～2014年
『中部を創る-20人の英知が未来をデザイン』共著 中部産業・地域活性化センター 2010年 ほか

<出演>

NHKラジオ「タ刊ゴジらじ」毎月第1月曜17:15頃～
東海ラジオ「GRooVE929(グルーブ・ナイントゥーナイン)」毎週木曜8:15頃～
CBCラジオ「であい ふれあい 探検隊!!」毎週土曜11:20頃～
テレビ愛知「5時スタ」17:00～(不定期) ほか

<公職>

中部の地域づくり委員会委員(国土交通省中部地方整備局)
愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員(愛知県)
名古屋市港北エリアまちづくり事業者評価委員会委員(名古屋市)
名古屋港基本計画検討委員会委員(名古屋港管理組合) ほか

名古屋港ポートビルご案内

名古屋港ポートビルは、親しまれる名古屋港の新しいシンボルとして、海に浮かぶ白い帆船のイメージで建設(1984年)されました。3階には「日本一の国際貿易港・名古屋港」をテーマに、港の役割や人々の暮らしとの関わりなどを分かりやすく紹介した「名古屋海洋博物館」、7階には地上53メートルの「展望室」、そのほか講堂、会議室などを備え、県民・市民の港とのふれあいの場となっています。

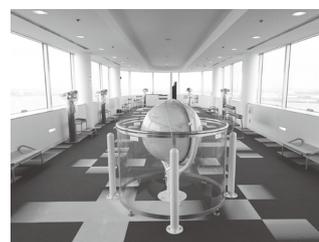
※ご参加の皆様には名古屋港ポートビル内の名古屋海洋博物館・展望室、南極観測船ふじの無料招待券(3か月有効)、記念品を進呈いたします。



01 南極観測船ふじ



02 名古屋海洋博物館



03 展望室